

人と違うからってダメじゃない
自分らしく輝くから美しい

夜空に輝くたくさんの星たち。
夜空には88の星座があることを知っていますか？
星座占いに出てくる12星座しか知らない
という方もいるかもしれませんね。
ここでは12星座『じゃない』マイノリティー
な星座たちを紹介したいと思います。

人と違うからってダメじゃない
異質でも異端でもない
それがわたしの普通なんだ
色々な物語があって、個性がある
自分らしく輝くから美しい

案内犬紹介！

星空の案内犬



ナビ

星が好きな大型犬の男の子。星について知ってほしくて日々、案内犬としてがんばっている。
ジャーキーが大好きで、あげるといつもよりもたくさん星について教えてくれる。

ボクは、星空の案内の「ナビ」だよ。
みんなが星について知るためのお手伝いをするよ。
よろしくねー！ 犬

それじゃあ、さっそくいってみよー！



星座

×



マイノリティー

マイノリティーは「少ないこと」および「少数派」という意味のこと。

少数民族、性的少数者、障害のある方、子供、老人、外国人に宗教。様々なものがあり、社会的な「弱者」とされやすいのです。

マジョリティー「多数派」からは異質だと捕らえられてしまいます。

でも、マイノリティーの人にとってはそれこそが普通であり、そこに至るまでの物語があります。

少数派として、社会的な「弱者」にするのではなく、まずは知ろうとしてほしい。

そんな思いから、マイノリティーとあまり知られていない十二星座「じゃない」星座を掛け合わせました。マイノリティーについて知るきっかけになったり、「じゃない」に星座に興味を持っていただけたら嬉しいです。

星座について知ろう！

星座の起源

紀元前 3000 年前、つまり今から 5000 年前にさかのぼります。
その頃、メソポタミア地方の羊飼いたちは羊の番をしながら、星空を見上げては星々を結んで動物や巨人、英雄たちの姿を描きました。
これが星座のルーツであるとされています。



その後、その多くが古代ギリシャへと伝わり、詩人たちによって神話や伝説と結びついて行きました。

星座神話の誕生

それから、天文学者たちによって様々な星座が作られて行きました。

2 世紀頃になると、ギリシャの天文学者：プトレマイオス（トレミー）がそれまで伝わっていた星座を 48 星座に整理しました。

「プトレマイオス（トレミー）の 48 星座」

現在使われているものほとんど同じで
約 1500 年もの間使われてきました。

16～17 世紀頃になると、望遠鏡の発明や大航海時代の到来により、南天の星空にも星座が描かれるようになりました。
描かれたのは、カメレオンやくじゃくなどの南半球の動物や、望遠鏡やコンパス、時計などの新しい道具でした。

それ以降も、多くの天文学者が次々に星座を作り、とうとう 100 を超えてしまい混乱を招きました。

そこで、1928 年に国際天文学連合が全天の星座を「88 星座」と定められました。

こうして…

今も使われている「88 星座」が確定しました。

春の星座
かみのけ座



特徴

- 春霞のようにぼんやり輝く小さな星の群（散開星団）。それがそのまま星座となるのは珍しい。
- 紀元前3世紀ころのエジプトの王の妃、ベレニケの美しい髪を星座にしたと言われるため、元々はベレニケのかみのけ座と呼ばれていた。



物語

ベレニケは紀元前3世紀ごろのエジプトの王の妃で、琥珀色をしたその髪のはりやかさは国の内外でも評判でした。

ある年、王はアッシリアと戦うため自ら軍を率いて出陣しますが、長く苦しい戦いの末に軍は敗れ捕まってしまいました。

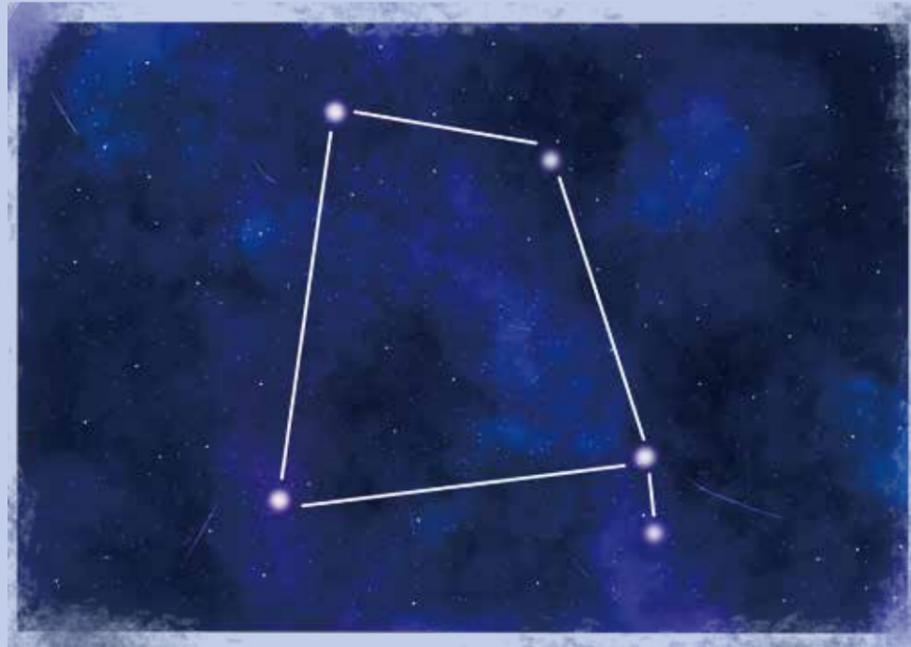
その知らせを聞いたベレニケは王の無事を祈るため、愛と美の女神・ビーナスの神殿に出かけ、誓いを立てました。「もし夫に勝利をおさずけだされば、私の命にも代えがたいこの髪をお礼として捧げます」

その後、ベレニケの祈りが通じたのか王は敵の軍の手から逃れると、エジプト軍を立て直し見事勝利を収めました。もちろんベレニケは惜しげも無く美しい髪を切り、神殿の祭壇に捧げました。

のちに、祭壇に捧げた王妃の美しい髪が消えてしまったとの知らせがもたらされ、王と妃が祭壇に駆けつけると宮廷天文学者がこう告げました。「大神ゼウスが王妃様の優し心と美しい髪を愛でて展開に召し、星の間に飾られました。あの通りでございます」と。

関係のある星座：

春の星座
からす座



特徴

- ・うみへび座の背に乗る星座の一つ。
- ・小さな四辺形で見つけやすい。
- ・世界ではカラスの他に小舟や子象、手のひらや荷車などと言われている。



物語

音楽と弓と太陽の神であるアポロンは、とある国の王女コロニスを愛し結ばれました。
しかしアポロンはパルナッソスの神山に帰らなければいけなくなりました。

そこで、銀色の羽を持ち人間の言葉を自由に話せる賢いカラスにコロニスの様子を見て報告するように命じました。

ある朝、いつものように使いから帰ったカラスは途中で道草をした"いいわけ"に「コロニスが夫が留守の間に他の男に心をうつしました」と嘘をつきました。
アポロンは急いで山を降り、家の近くに見えた人影をその男だと思い矢を放ちました。
しかし、近寄ってみるとそれは貞淑な妻コロニスでした。

コロニスは既に虫の息でしたが、アポロンの過ちを許しお腹の子だけは無事に誕生させ育てて欲しいと願いました。(のちに医神となったアスクレピオス=へびつかい座)

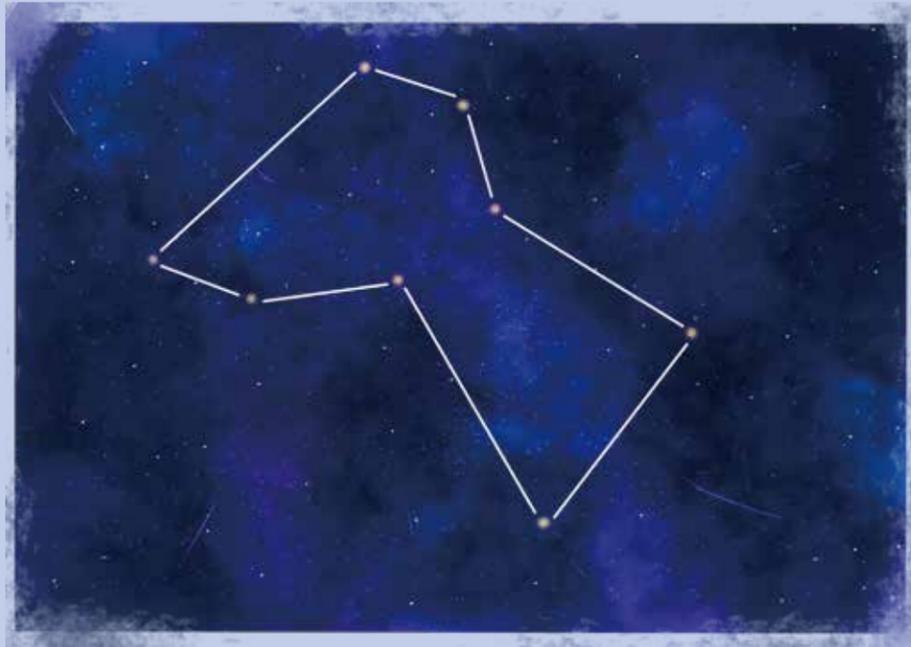
その後カラスを見つけたアポロンは「お前のような大嘘付きはこうして罰してやろうぞ……」とカラスから人間の言葉を奪いとり、ただカアカアと鳴くだけの真っ黒な鳥の姿に変えてしまいました。
そうして、見せしめとして星座として空に上げ、喉が渴いても決してコップ座にくちばしが届かないように置いたのだと言われています。

関係のある星座：コップ座 へびつかい座



春の星座

コップ座



特徴

- ・古代ギリシャの盃の形をしている
- ・うみへび座の背に乗る星座の一つ。
- ・一番明るい星でも4等星という暗めな星座。



コップ座は古代ギリシャ時代に作られた古い星座です。
このコップ座は、ギリシャ神話に伝えられている酒神・ディオニュソスが持っていた杯だと言われています。

ディオニュソスは、大神・ゼウスとテーバイ王の娘・セメレとの間に生まれた若者で、半分はゼウス神の血を引いているので神のような力を持っていると伝えられています。

このディオニュソスがいつも愛用していた杯がコップ座になっていると言われていますが、「コップ」と言っても現在使われているような形ではなく、耳飾りのついた杯の形で描かれています。

また、太陽神・アポロンのゴブレットを表すなど様々な説があります。

関係のある星座：からす座



夏の星座

へび座・へびつかい座



特徴

- へびつかい座は将棋の駒のように五角形に星が並んだ大きな星座。
- へび座とへびつかい座は元々は一つの星座だった。プトレマイオスにより二つに分割されたと言われる。
- へび座は頭部と尾部が二つに分かれている珍しい星座。



へびつかい座になっているのは、ギリシャ神話に伝えられている医術の神・アスクレピオスだと言われます。

太陽神・アポロンとラリッサ王の娘・コロニスの中に誕生しました。

アポロンが嘘つきカラス(からす座)の嘘の告げ口を本気にし、誤ってコロニスを射殺してしまいました。

コロニスからの願いもあり、お腹にいたアスクレピオスを取り上げると彼を賢者・ケイローンに預けた。

ケイローンに医術を授けられ、名医となったアスクレピオスは蛇が薬草を死んだ仲間に与え蘇らせるのを見て、死者を蘇らせる術を知った。

だが、それは冥神・ハデスの不興を買い、ハデスに頼まれた大神・ゼウスはアスクレピオスを雷撃で撃ち殺した。

これを知ったアポロンは激怒し、雷撃の矢を鍛えた3人のキュクロープス(単眼の巨人)を殺した。

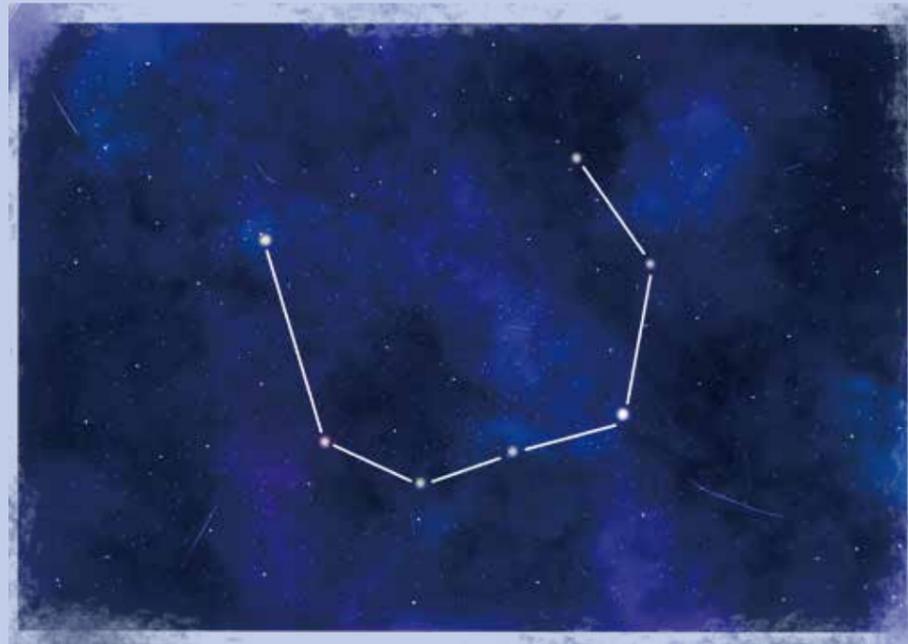
ゼウスはアポロンに罰を与えたが、その怒りを抑えるため、また名医アスクレピオスの腕を惜しむ声の人々だけでなく神々の間でもささやかれ、ゼウス自身も同じ思いだったためにアスクレピオスを天に上げ星座とした。

アスクレピオスがなぜ大きな蛇を持って星座になっているのかはよくわかっていません。

脱皮する蛇が不死の象徴(医療のシンボル)であるだとか、蛇の毒をも良薬として使うことができたなど様々な説があります。

関係のある星座：からす座 いて座

夏の星座
かんむり座



特徴

- ・小さな星座だが、数個の星が半円状に美しく並んでおり名の通り冠を連想させる。
- ・南のかんむり座という星座もある。



物語

かんむり座のモデルになったのは、ミノタウルの神話に登場する王女・アリアドネの冠です。

ギリシャのアテネの街がクレタ島の王・ミノスの支配を受けていた頃、アテネの街から毎年、美少年美少女を7人ずつ差し出すよう命じられていました。
クレタ島のラビリンズに住むミノタウルスに捧げるためでした。

ある時、テセウスという勇者（諸説あり）がクレタ島行きに志願します。テセウスはミノタウルスを倒すために志願したのです。
無事クレタ島に着くと、14人の少年少女たちはミノタウルスの前に連れて行かれます。
その時、王・ミノスの娘・アリアドネはテセウスに一目惚れをしてしまったのです。

テセウスは無事にミノタウルスを倒して、アリアドネを妻に迎えクレタ島を出発します。
しかし、テセウスの夢に女神・アテナが現れ「アリアドネを妻にすると災いが起こる。アリアドネを島に残し、急いで船出せよ」と告げました。
テセウスはそのお告げに従い、アリアドネが眠っている間に船出していました。

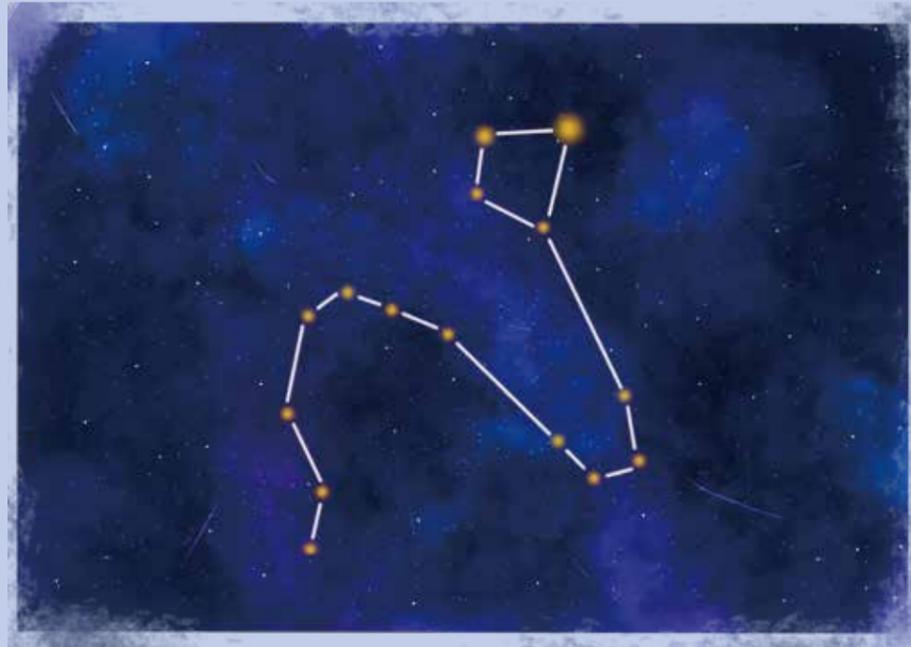
残されたアリアドネは嘆き悲しみますが、その土地を支配していたディオニュソスに迎えられ妻となります。
その証として与えられたのがこの王冠だったと伝えられています。

関係のある星座：



夏の星座

りゅう座



特徴

- 北斗七星をぐるりと半周するよう星が連なる竜を表した星座。
- 紀元前1200年頃には「へび座」と呼ばれていた星座で、ギリシャ時代になって、りゅう座と呼ばれるようになりました。
- しぶんぎ座流星群とりゅう座流星群の2つの流星群がある。



りゅう座の竜と伝わる神話は大まかに2説あります。
1つはヘルクレスの12の試練の1つの黄金のリンゴを取りに行くお話の中でリンゴの木を守っていた竜。

この竜は、世界の西の果てヘスペリデスの園で大神・ゼウスと女神・ヘラの大切な黄金のりんごの木を守る役目に就いていました。しかし、うっかり居眠りをしてしまいそのりんごを奪われてしまいました。
ですが、長い間りんごを守ってきたことを認められ竜は星座として空に上げられたとされています。

そして、もう一つはギリシャ神話の長い冒険談、アルゴ船の冒険の中で、金の羊の毛皮(おひつじ座)を守っていた竜です。

関係のある星座：ヘラクレス座



秋の星座

ペルセウス座



特徴

- ・冬に北の天高くに上る星座
- ・8月中旬頃に流星群が見られる。



ペルセウスは、アルゴスの王の娘・ダナエと、大神・ゼウスの間の子供。アルゴスの王・アクリシオスは「娘が生む息子に殺される」という神託を受けていたため、ダナエと生まれたばかりのペルセウスを木箱に入れて海に流してしまいました。

エーゲ海を漂った木箱は、セリポス島に流れ着きます。セリポス島を治めていた王・ポリュデクテスはダナエに惚れ、息子のペルセウスを邪魔に感じるようになります。そこで、ペルセウスをゴルゴン討伐に向かわせます。

ゴルゴンとは三姉妹で、蛇の髪を持ちその目を見たものを石に変えてしまうという恐ろしい怪物でした。

ゴルゴン討伐に向かったペルセウスでしたが、倒す術はおろか居場所すらわかりません。そこに女神・アテナと情報の神・ヘルメスが現れ、二人の神からゴルゴンを倒す武具やアドバイスを得ることができました。

ゴルゴンの住処を見つけたペルセウスは、姿を消す帽子をかぶり三姉妹で不死身ではないメドゥサに狙いを絞ります。ペルセウスは女神・アテナの助言に従い、青銅の盾に怪物を映しながら近づき、見事メドゥサの首を切り落としました。

関係のある星座：アンドロメダ座 ペガサス座 くじら座

秋の星座
秋 ペガサス座



特徴

- 明るさの揃った四つの星が四角形の形になっており「ペガサスの四辺形」と呼ばれている。
- 四辺形の星の一つは、アンドロメダ座の星でもあり、一つの星が二つの星座に使われるのは珍しい。



物語

ギリシャ神話では、ペルセウスがメドゥサ討伐をしたときに生まれた馬がモデルであるとされています。

天馬ペガサスは、ペルセウスがメドゥサの首を切り落とした時に出た血が、岩に染み込んだときに生まれました。雪のように白く、銀色の翼を持つペガサスは勇者ペルセウスを乗せてアンドロメダ姫を助けます。

その後、ペガサスは女神・アテナの神殿で飼いならされます。あるとき、コリント国の王子・ベレロフォンは国王からキメラ退治を命じられます。ベレロフォンがアテナ神殿の前で成功の祈願をしたところ、女神・アテナが現れてピレーネの泉にいるペガサスを授かりました。

ペガサスの力を得たベレロフォンは、見事にキメラを打ち倒しました。ですが、その後自分の力に自惚れて"神になる"ため天界を目指します。それを見ていた大神・ゼウスは一匹のアブを放ち、アブはペガサスをチクリと刺しました。驚いたペガサスはベレロフォンを振り落とし、そのまま天を駆け上がり星になったとされています。

関係のある星座：ペルセウス座 アンドロメダ座 くじら座



秋の星座

くじら座



特徴

- ・大きな星座で、秋の南天にどっかりと広がっている。
- ・明るさを変える赤い星「変光星・ミラ」という、天文学上珍しい恒星を持っている。



古代エチオピアのカシオペア王妃は、娘のアンドロメダ姫の美貌をしきりに自慢します。

あるとき、「海の神の娘よりも美しい」と言ってしまったため、神々が怒りアンドロメダ姫を怪物クジラの生贄にしようとした。

アンドロメダ姫は生贄として海岸の岩にくくりつけられ、それを襲いに来たのがくじら座になった怪物クジラです。

怪物クジラが海から出現して、アンドロメダ姫まであと少しというところまで来たとき、メドゥサを退治した帰りの勇者・ペルセウスが通りかかります。

彼は袋からメドゥサの首を取り出し、怪物クジラに見せて石に変えてしまいました。

その石になったくじらを哀れに思い、星として空に上げたと言われています。

関係のある星座：ペルセウス座 アンドロメダ座 ペガス座



冬の星座

エリダヌス座



特徴

- 星座には珍しく川の名前がついている。
- 星座の中で6番目に大きい。



エリダヌス座はギリシャ神話の伝説の川で、太陽神・オケアノスを父に女神・テテウスを母に持つとされています。

エリダヌス川は、太陽神・ヘリオスの子であるパエトーンが落ちた川として知られます。

パエトーンは父親を尊敬していましたが、友人たちは誰も彼の親が太陽神だと信じていません。

罵られたパエトーンは父親の宮殿に行き、太陽の馬車に乗って天へと駆け上って行きました。

しかし、太陽の馬車は言うことを聞きません。パエトーンは馬の手綱を放してしまい、馬車は暴走を始めます。

大神・ゼウスはこれを見て仕方なく雷を投げ、パエトーンを撃ち落としました。そのとき、パエトーンが落ちたのがエリダヌス川だということです。

関係のある星座：



冬の星座

いっかくじゅう座



特徴

- ・暗い星座ではあるが、冬の大三角の近くにあるため見つけやすい。
- ・星雲や星団がいくつかあり、バラ星雲が有名。



いっかくじゅう座にまつわる神話は、ギリシャ神話よりも古い伝説に基づいています。

一角獣はユニコーンとして知られている空想上の動物です。いつ頃生まれた伝説なのかは定かではありませんが、中世のヨーロッパやずっと古いアッシリアの遺跡にもその姿が描かれています。

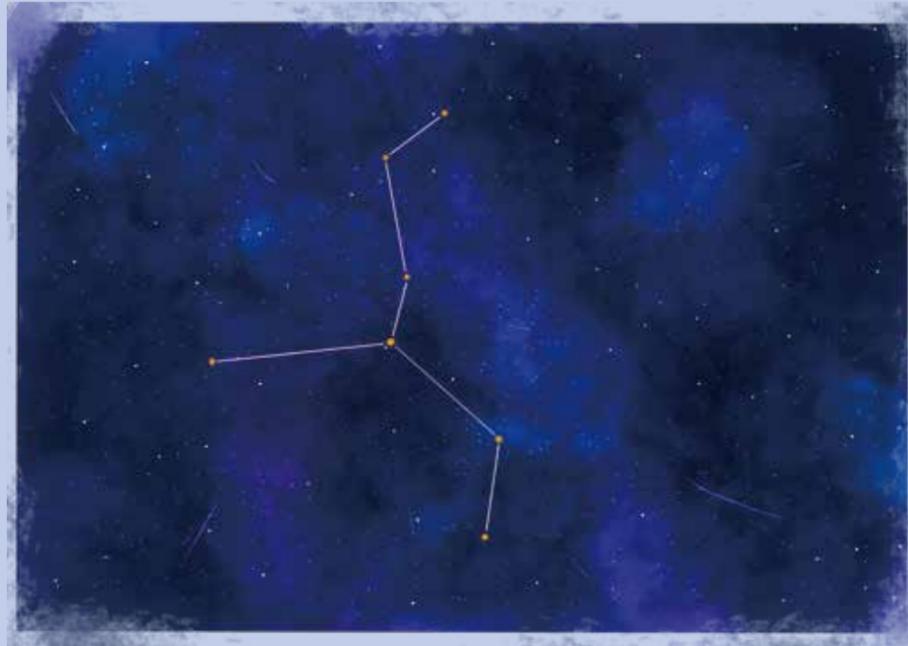
伝説によると、体は馬のようで額には長い一本のツノが生えていて、東方の国に棲んでいるとされています。一角獣は大いなる幸運をもたらす動物とされ、そのツノはどんな病気も治してしまうと信じられていました。

しかし、誰もが幸せを手に入れようと一角獣を探しましたが、決して見つかることはありませんでした。一角獣は心が清らかな優しい乙女しか見ることができないとも言われていて、やがて伝説となり星座になったと言われています。

いっかくじゅう座は比較的新しい星座で1624年に新設されました。

関係のある星座：

冬の星座
はと座



特徴

- ・ 暗い星座で、南の空の低いところにあるため見つけにくい。



物語

はと座のモデルは、旧約聖書にある「ノアの箱舟」の洪水の時に登場する鳩だと言われています。

神・エホバは、人々が墮落していく様を見て、「一度世界を壊して、新しい世界を作り直そう」と考えました。

しかし、ノアの一家だけは誠実で勤勉な生活をしていたので、神はノアに考えを告げました。「やがて地上は洪水によって全て水浸しになってしまう。お前は大きな箱舟を造り、家族と一緒に乗り込みなさい。そして箱舟には、全ての動物をひと番ずつ載せるのも忘れてはいけないよ」

ノアはこの言葉を守り、大きな箱舟を造って家族の他に全ての動物たちをひと番ずつ乗せました。

神のお告げ通り、雨は四十日四十夜、休みなく降り続けました。地上は大洪水となり全ての人を押し流してしまいました。

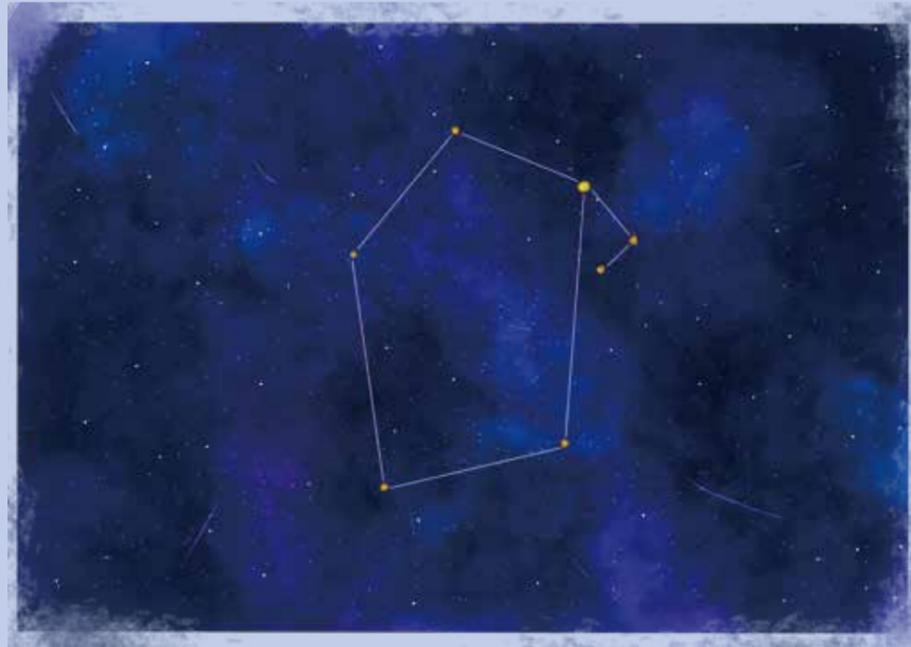
ノアは、水が引いたかを確認するために一羽の鳩を放ってみました。疲れて飛び帰ってきただけでした。

しかし、もう一度だけ鳩を放つことにしました。飛び立った鳩は次の日も、その次の日も帰ってきませんでした。放った日から7日経ったある日、鳩は一本のオリーブの小枝を咥えて帰ってきました。これを見たノアは大変喜び、水が引いたことを知ることができました。

また、別の諸説では、ギリシャ神話の「アルゴ遠征の冒険物語」に登場する鳩とも言われています。

関係のある星座：

冬の星座
ぎよしゃ座



特徴

- 北の空に最も高く輝く将棋の駒のような五角形。
- 星座の中で一番明るい星は一等星の「カペラ」で、雌ヤギという意味。



物語

ぎよしゃ座の星座絵を見ると、老人に抱かれている子ヤギの姿が描かれています。

この老人の姿は、古代ギリシャの都市アテナイの王・エレクトニウスとされています。

エレクトニウスは、鍛冶の神・ヘファイストスと知恵の神・アテナの間に生まれました。

アテナ女神の神殿で育てられたエレクトニウスはとても聡明で、成人すると古代都市アテナイの王となりました。

王となったエレクトニウスはアテナイ最大の祭典パナテナイア祭を創設するなど善政を敷き、民衆に慕われました。

発明好きのエレクトニウスは、車椅子に似た馬車を作り、生まれつき不自由な足を物ともせず戦場を駆けたと言います。

その武勇を天上から見ていた大神・ゼウスはエレクトニウスの姿を馬車に乗って馬を操る人「ぎよしゃ」として夜空に描いたとされます。

また、エレクトニウスは子ヤギを抱いていますが、古代ギリシャではヤギが幸運のシンボルとされていました。遺跡からはヤギを抱いた人の姿が描かれたものが多く見つかったそうです。

関係のある星座：



南の星座

りゅうこつ座、ほ座、とも座、らしんばん座



特徴

- ・日本では一部の地域で見ることができる南半球の星座



元々は「アルゴ座(アルゴ船座)」という1つの星座として伝えられていました。アルゴ座自体は古い星座で、ギリシャ神話の「アルゴ遠征隊の冒険物語」に基づいています。

しかし、アルゴ船がとても大きい星座だったので星の位置を示すのに4つに分けられました。ほ座は船の帆、りゅうこつ座は船底にある竜骨を、とも座は船の後ろの部分のことです。

関係のある星座：ヘラクレス座　へびつかい座　ふたご座　おひつじ座
いて座　こと座　や座　りゅう座



南の星座

きょしちょう座



特徴

- ・南半球の星座で、日本では奄美大島や沖縄でその一部を見ることができる。
- ・小マゼラン雲（ぼーっと輝く白い雲のようなもの）がある。



きょしちょう座は、1603年にドイツの天文学者であるヨハン・バイエルが発行した星図「ウラノメトリア」により広く知られるようになりました。

熱帯地方に生息しているくちばしの大きな「きょしちょう(オオハシの仲間)」が描かれており、当時のヨーロッパでは珍しい鳥として星座に描かれたと言われています。



南の星座

くじゃく座



特徴

- ・南半球の星座で、日本では見ることができない星座の1つ。
- ・孔雀という華やかな鳥がモチーフですが、暗い星座です。



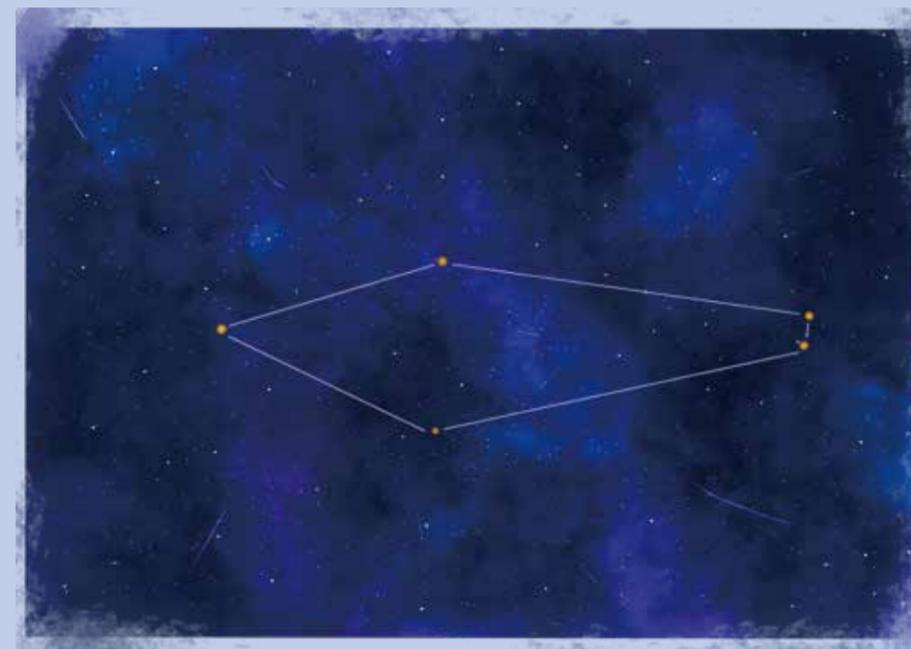
くじゃく座ができたのは近世になってからで、15世紀頃に南アフリカ方面に航海していた船乗りたちが作った星座だと言われています。

ドイツの天文学者であるヨハン・バイエルが星図「ウラノメトリア」により知られるようになりました。



南の星座

カメレオン座



特徴

- ・南半球の星座で、日本では見ることができない星座の1つ。
- ・小さく暗い星座。



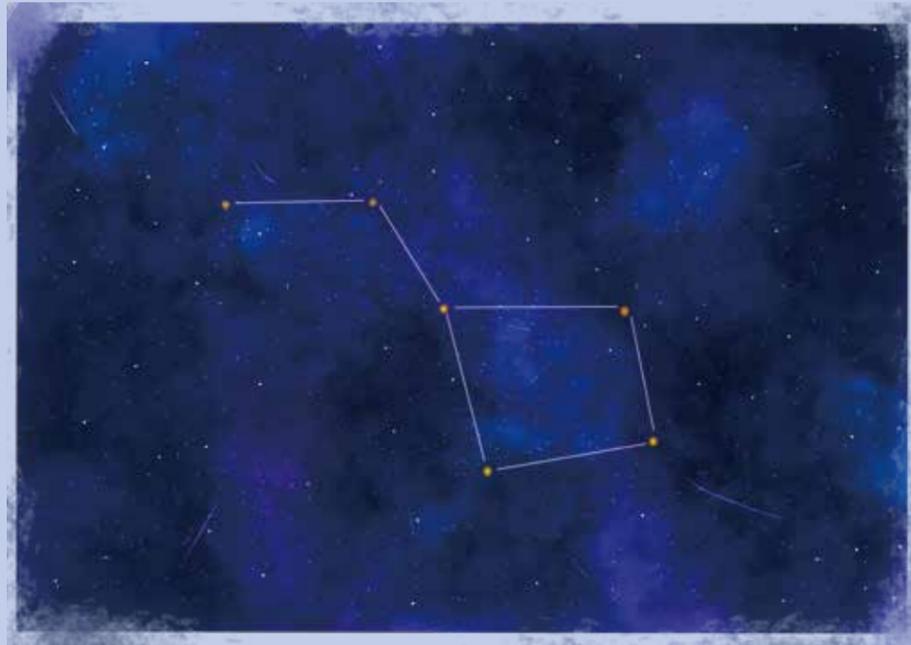
カメレオン座は近世になってから作られた新しい星座です。

ドイツの天文学者であるヨハン・バイエルが星図「ウラノメトリア」に記したのが始めだと言われています。伝記などは伝わっておらず、あまり知られていない星座です。



南の星座

とびうお座



特徴

- ・南半球の星座で、日本では見ることができない星座の1つ。

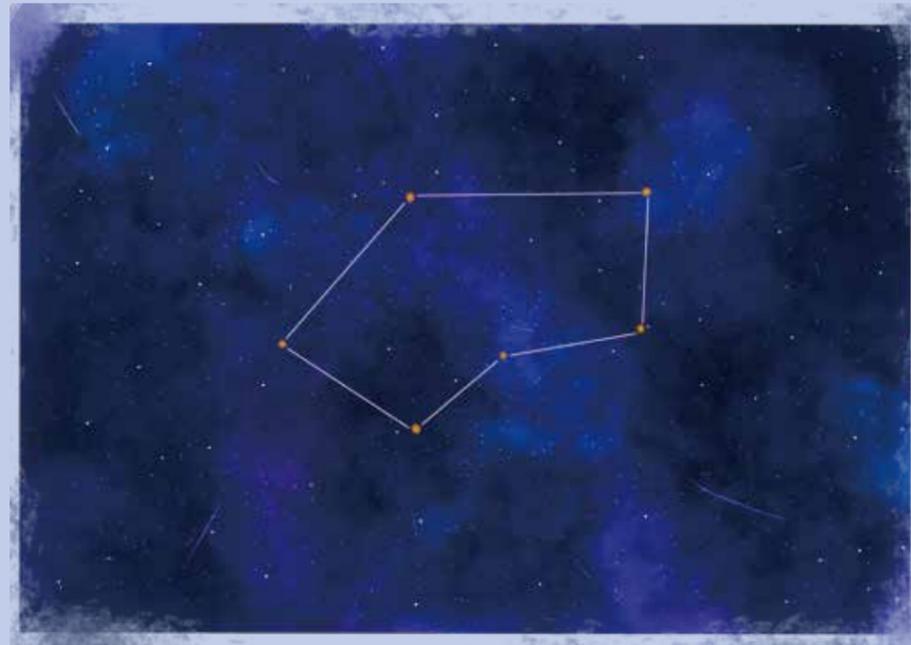


とびうお座は近世になってから作られた新しい星座です。航海士たちが残した観測記録を元に1597年に作成した地球儀に残っているものが最初です。それを星図「ウラノメトリア」で引用したことで知られるようになりました。星を観測していた航海士たちが、トビウオの大郡を目にして、その珍しい姿を星座として上げたと言われています。



南の星座

テーブルさん座



特徴

- ・南半球の星座で、日本では見ることができない星座の1つ。
- ・大マゼラン雲が近くにある。



テーブルさん座は、テーブルのように上部が平らになった岩山の形を表した星座です。テーブルさん座の「さん」は「山」のこと。南アフリカのテーブルマウンテンという実在する山を描いたものです。この山のふもとでヨーロッパの天文学者たちが星の観測を行っていたとされています。

88 星座の名前紹介！

あ

- ・アンドロメダ座
- ・いっかくじゅう座
- ★・いて座
- ・いるか座
- ・インディアン座
- ★・うお座
- ・うさぎ座
- ・うしかい座
- ・うみへび座
- ・エリダヌス座
- ★・おうし座
- ・おおいぬ座
- ・オオカミ座
- ・おおぐま座
- ★・おとめ座
- ★・おひつじ座
- ・オリオン座

か

- ・がか座
- ・カシオペア座
- ・かじき座
- ★・かに座
- ・かみのけ座
- ・カメレオン座

- ・からす座
- ・かんむり座
- ・きょしちょう座
- ・ぎょしゃ座
- ・キリン座
- ・くじゃく座
- ・くじら座
- ・ケフェウス座
- ・ケンタウルス座
- ・けんびきょう座
- ・こいぬ座
- ・こうま座 (子馬)
- ・こぎつね座 (小狐)
- ・こぐま座
- ・こじし座 (子獅子)
- ・コップ座
- ・こと座
- ・コンパス座

こ

- ・さいだん座
- ★・さそり座
- ・さんかく座
- ★・しし座
- ・じょうぎ座

た

- ・たて座
- ・ちょうこくぐ座
- ・ちょうこくしつ座
- ・つる座
- ・テーブルさん座
- ★・てんびん座
- ・とかけ座
- ・とけい座
- ・とびうお座
- ・とも座

は

- ・はえ座
- ・はくちょう座
- ・はちぶんぎ座
- ・はと座
- ・ふうちょう座
- ★・ふたご座
- ・ペガスス座
- ・へび座
- ・へびつかい座
- ・ヘルクレス座
- ・ペルセウス座
- ・ほ座
- ・ぼうえんきょう座

- ・ほうおう座
- ・ポンプ座

み

- ★・みずがめ座
- ・みずへび座
- ・みなみのじゅうじ座
- ・みなみのうお座
- ・みなみのかんむり座
- ・みなみのさんかく座

や

- ・や座
- ★・やぎ座
- ・やまねこ座

り

- ・らしんばん座
- ・りゅう座
- ・りゅうこつ座
- ・りょうけん座
- ・レチクル座
- ・ろ座
- ・ろくぶんぎ座

わ

- ・わし座

星の和名紹介！

- 金星
一番星 / 明星 (みょうじょう) / 宵の明星 / 明けの明星 / 赤星 / 綺羅星 (きらぼし)
- 火星
螢惑 (けいわく) / ほのおぼし / 夏日星 (なつひぼし)
- 土星
安土星 (あづちのほし) / 環著星 (わつきほし) / 輪通星 (わづつのほし) / 安曇星 (あづみほし)
- 太陽
日輪 (にちりん) / 紅輪 (こうりん) / 九陽 (きゅうよう) / 天日 (てんじつ) / 金烏 (きんう) / 天つ日 (あまつひ)
- 彗星
ほうき星 / 穂垂れ星 / 扇星
- 流星
はしり星 / 縁切り星 (えんきりぼし) / 星の嫁入り
- 北斗七星
柄杓星 (ひしゃくぼし) / 柘星 (ますぼし) / 七夜の星 / 鍵星 (かぎぼし)
- ポラリス (こぐま座 / 北極星)
こころ星 / 北辰
- アークトゥルス (うしかい座)
五月雨星 (さみだれぼし)

- スピカ (おとめ座)
真珠星 (しんじゅぼし)
- ベガ (こと座)
織姫星 (おりひめぼし)
- アルタイル (わし座)
彦星 (ひこぼし)
- オリオン座
鼓星 (つづみぼし) / 小三つ星 (こみつぼし) / 源氏星 / 平家星
- アンドロメダ座
斗搔き星 (とかきぼし)
- プレアデス星団 (おうし座)
昴 (すばる) / 六連星

和名とは…？

和名は、生物や鉱物、現象などにつけられた日本語での名前のこと！
ここで紹介した星の名前はあくまでほんの一部です。惑星や星座、星にも素敵な和名がまだまだたくさんあります。
興味を持ってくれた方は調べてみると、どうしてこの名前がついているのかについて知ることができたり、素敵な和名に出会えるかもしれませんね！

参考文献

藤井旭の星座と星座神話 春 (2012)
藤井 旭／誠文堂新光社

藤井旭の星座と星座神話 夏 (2011)
藤井 旭／誠文堂新光社

藤井旭の星座と星座神話 秋 (2011)
藤井 旭／誠文堂新光社

藤井旭の星座と星座神話 冬 (2011)
藤井 旭／誠文堂新光社

参考にさせていただいた Web ページ

星の美しい和名特集。古くから呼ばれ続ける美しい星の名前を季節毎に厳選
<https://folk-media.com/2908203>

惑星・星座の和名や異称 一覧 376 種類 | 日本の美しい言葉・古い言葉
<https://kotonohaweb.net/star-alias/>

星座は全部でいくつあるの?! 歴史や起源もご紹介!
<https://readyfor.jp/projects/starry/announcements/102181>

88 星座図鑑
<https://www.study-style.com/seiza/>

社会的少数者
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E7%9A%84%E5%B0%91%E6%95%B0%E8%80%85>

あなたが自分らしく輝けますように



